

平成 29 年 6 月 8 日

消防庁における熱中症対策

1. 熱中症による救急搬送人員数の調査と公表

① 調査の概要

全国の消防本部を調査対象とし、5月1日を含む週の月曜日
から9月30日を含む日曜日までの救急搬送人員数調査を
行っている。

② 調査結果の公表

調査結果は週報を消防庁ホームページに公開するとともに、
確定値を月報として報道発表している。

③ データ提供

データは消防庁 HP において、Excel 形式で提供している。

期間	人員数
5/1~5/7	422 人
5/8~5/14	462 人
5/15~5/21	984 人
5/22~5/28	746 人
5/29~6/4	1086 人

5~9 月の合計	50,412 人
----------	----------

2. 特設ホームページ「熱中症情報」等による予防のための普及啓発

① 熱中症による救急搬送人員数（週報・月報）の内容を情報発信（再掲）

② 予防啓発コンテンツ

(1) 予防啓発ビデオ

熱中症予防のポイント等を説明した動画を作成（5分、15秒）



啓発ビデオ

(2) 予防啓発イラスト

「消太」を活用して熱中症予防を呼びかけるイラストを
作成（30種類）



啓発イラスト

(3) 予防広報メッセージ

移動車両等での広報に用いるメッセージを作成（20例）

日本語を含めて4言語作成（日、英、中、韓）

(4) 熱中症対策リーフレット

熱中症の予防法や対処法のポイントを記載

(5) 熱中症予防啓発取組事例集

自治体における取組事例を紹介

(6) ツイッターによる注意喚起（フォロワー数：約80万）

(7) 熱中症予防強化月間ポスター

熱中症予防強化月間に合わせて、熱中症による緊急時には、ためらわずに
救急車利用を呼びかけるポスターを作成・配布



消防庁ツイッター
(スマートフォン画面)

3. 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組み

① 訪日外国人のための救急車利用ガイド

急な病気やけがをしたときに、必要な情報を掲載（7言語）

（英、中繁・簡、韓、伊、仏、タイ）

② 予防広報メッセージの作成（3言語）（再掲）



救急車利用ガイド

熱中症を予防して元気な夏を!



夏に向けて、熱中症になる人が増えてきます。
熱中症を知って、しっかり予防し、楽しい夏を過ごしましょう!



このリーフレットでは、熱中症の症状や応急手当を紹介しています。



救急車を呼んで、一刻も早く病院へ行く必要がある状態や、症状についても紹介しています。当てはまる場合は、急いで119番しましょう。

※消防庁が作成した「救急受診ガイド」や「救急車利用リーフレット」も合わせてご覧ください。
(消防庁HP「<http://www.fdma.go.jp/>」: 上記のQRコードをスマートフォンなどで読み取ることで、簡単に接続できます)



救急受診ガイド



救急車利用リーフレット



消防庁 FDMA

<http://www.fdma.go.jp/>



熱中症とは?

温度や湿度が高い中で、体内の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れ、体温の調節機能が動かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどいときには、けいれんや意識の異常など、様々な障害をおこす症状のことです。

家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、体から熱が逃げにくく熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

熱中症の分類と対処方法

重症度	症状	対処	医療機関への受診
↓	<ul style="list-style-type: none"> めまい 立ちくらみ こむら返り 手足のしびれ 	<ul style="list-style-type: none"> 涼しい場所へ移動 安静 水分、塩分補給 	<ul style="list-style-type: none"> 症状が改善すれば受診の必要なし
	<ul style="list-style-type: none"> 頭痛 吐き気 体がだるい 集中力や判断力の低下 	<ul style="list-style-type: none"> 涼しい場所へ移動 体を冷やす 安静 十分な水分と塩分の補給 	<ul style="list-style-type: none"> 口から飲めない場合や、症状の改善が見られない場合は、受診が必要
	<ul style="list-style-type: none"> 意識障害(受答えや会話がおかしい) けいれん 運動障害(普段通りに歩けないなど) 体が熱い 	<ul style="list-style-type: none"> 涼しい場所へ移動 安静 体が熱ければ保冷剤などで冷やす 	<ul style="list-style-type: none"> 急いで救急車を要請

熱中症予防のポイント

- ☺ 部屋の温度をこまめにチェック!
(普段過ごす部屋には温度計を置くことをおすすめします)
- ☺ 室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう!
- ☺ のどが渇かなくてもこまめに水分補給!
- ☺ 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策も!
- ☺ 無理をせず、適度に休憩を!
- ☺ 日頃から栄養バランスの良い食事と体づくりを!



子供の特徴

地面の照り返しにより、高い温度にさらされやすい



汗腺などが未熟

体温調節機能が未熟なため、熱中症にかかりやすい

保護者の方へ

- お子さんの顔色や汗のかき方を十分に観察しましょう!
- 遊びの最中には、必要に応じて水分補給や休憩をとらせましょう!
- 日頃から外遊びをさせて、暑さに慣れさせましょう!
- 外出時は熱のこもりやすい服を避けて、帽子をかぶりましょう!

高齢者の特徴

のどが渇きを感じにくい



暑さを感じにくい

体温を下げるための体の反応が弱くなっており、自覚がないのに熱中症になる危険がある

熱中症にならないために

- 室温をこまめにチェックし、エアコンや扇風機等を活用!
- のどが渇かなくても水分補給をしましょう!
- 調子が悪いと感じたら、家族や近くの人にそばにいてもらいましょう!

熱中症の応急手当

- + 涼しい場所や日陰のある場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる
- + エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす

首の周り・脇の下・太もものつけねなど太い血管の部分冷やす



飲めるようであれば水分をこまめに取らせる



持病をお持ちの方やお子さんは、かかりつけの医師とあらかじめ相談し、熱中症対策についてアドバイスをもらっておきましょう

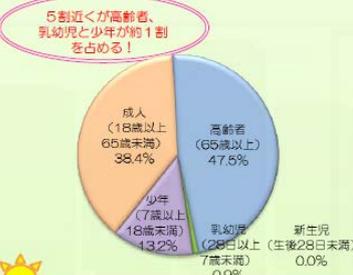


年代別では高齢者が5割近くを占めており、また、乳幼児と少年を合わせると1割以上となっています。熱中症による救急搬送者のうち、4割近くの方が入院しています。

熱中症による救急搬送者の内訳(平成23年~平成28年合計)

搬送人員計 291,519人
※6~9月の調査集計

【年齢区分別】



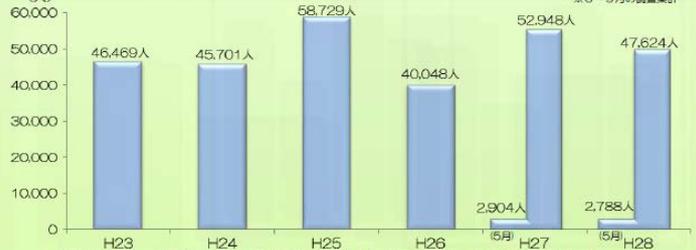
【傷病程度別】



熱中症により、毎年約4万人以上の方が救急搬送されています。熱中症による救急搬送者増加の要因として、気温や湿度の上昇が関係していることが分かっています。特に、梅雨明け前後の暑さには、最も注意が必要です!!

熱中症による救急搬送者数(平成23年~平成28年)

搬送人員計 291,519人
※6~9月の調査集計



◆消防庁では、HP上で熱中症の救急搬送状況調査の速報を週ごとに公表しています。

URL: http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

参考: 環境省「熱中症環境保健マニュアル」
http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke_manual.php

消防庁 FDMA

<http://www.fdma.go.jp/>

